

令和4年度「高等学校段階の病気療養中等の生徒に対するICTを活用した遠隔教育の調査研究事業 成果報告書（概要版）」

北海道教育委員会

1 背景・目的

- 高等学校における、入院、自宅療養時等の単位認定、復学の在り方の検討及び構築
- 遠隔機器を利用した同時双方向型、オンデマンド型の授業配信を活用した、入院生徒等に対する、入院から自宅療養、復学までの切れ目のない教育保障体制の整備
- 特別支援学校のセンター的機能の活用による、病弱教育の専門性を生かした在籍高校への助言及び入院生徒等への教育相談実施体制の整備

2 事業の内容及び成果

ICTを活用した遠隔教育（同時双方向型・オンデマンド型）

入院生徒及び在籍高校の双方にタブレット端末や、モバイルWi-Fiルーター等を貸与して、授業を遠隔配信したり、授業を録画して、入院生徒が、体調のよいときに視聴して学習できるようにしたりして、支援を行いました。



教員から入院生徒への授業配信の様子

◆推進校における教育保障の実施内容及び成果等

主な教育保障の実施内容	生徒の状況	主な成果等
<ul style="list-style-type: none">・メディアを活用した同時双方向型の授業・治療のスケジュールや体調に応じてオンデマンドによる学習支援・クラウドを活用した学習課題の配信・提出・学習日誌の活用	<ul style="list-style-type: none">・体調に応じて同時双方向型の授業とオンデマンド学習を併用・退院後は自宅で療養しながら同時双方向型の授業とオンデマンド学習を継続・復学後は補習やオンデマンド学習により、学習を補強	<ul style="list-style-type: none">・本事業により、休学や転学以外の選択肢が増え、入院生徒のモチベーションが向上・ICTを活用した授業の実施や教材の作成など、教職員のICT活用に関する意識とスキルが向上

◆本事業を活用した生徒・保護者の声

- ・学習の進捗が遅れないことはもとより、クラスの雰囲気も知ることができたので、復学後のイメージをもちながら療養することができました。
- ・オンデマンドによる学習支援は、体力と相談しながら自分のペースで学習できた点がよかったです。
- ・闘病、学習、進級に取り組むモチベーションアップにつながりました。
- ・長期にわたり、学校や病院から御支援いただき、心から感謝申し上げます。我が子が病気と闘いながら、進路の目標をもって学校生活を送り、卒業できました。本当にありがとうございました。



教室と入院生徒を結ぶ授業配信の様子

3 在籍校同士の連携（研究推進校連絡調整会議）

入院生徒の在籍する高校、特別支援学校、病院及び道教委で入院生徒に対する教育保障の進捗状況や実施上の課題等を共有し、改善策について、オンラインで協議しました。また、研究推進校以外の高校もオープン参加できるようにしました。

【成果】

- ・各研究推進校における校内体制の状況や、ICTを活用して行う授業等の取組を共有することができた。
- ・研究推進校の課題を設置者として聞き取り、その後の対応に生かすことができた。
- ・研究推進校以外の学校にも、病気療養中等の生徒に対する教育保障に関する理解を促進することができた。

4 教育保障体制の充実に向けた取組（教育保障体制検討会議）

外部有識者等による入院生徒に対する教育保障体制検討会議を開催し、専門的な知見から本道における教育保障の在り方等について御意見をいただきました。

【成果】

- ・大学教員、関係団体代表者、学校関係者、医療関係者、行政が一堂に会して協議することで、入院生徒に対する教育保障体制の構築の在り方や、事業推進上の課題等について、認識を深めることができた。
- ・病気療養中等の生徒に対する教育保障について、一層の周知を図る必要があることを確認できた。

5 実態把握（入院生徒に対する教育保障に係る実態調査）

入院生徒に対する教育保障の実施状況等について実態把握のための調査を行いました。
※調査対象 道立高等学校及び道立中等教育学校後期課程223校（課程別）

	R4年度	
病気等により30日以上欠席した生徒数	181	
生徒状況	進級・卒業	110
	原級留置	17
	転学・休学・退学	63
支援状況	プリントやレポート等の添削指導	124
	訪問(対面)による指導	63
	同時双方向での遠隔授業による指導	65
	動画(オンデマンド)による学習支援	23

